

# バイオマス取組事例概要書

## (農村振興局長賞)

関東

- ・ 応募主体 長野県飯田市
- ・ 都道府県・市町村 長野県飯田市
- ・ 取組分野 堆肥化、木質バイオマス(ペレットストーブ)

### 取組概要

家畜排泄物、菌茸栽培の廃床及び家庭生ゴミから堆肥を製造。  
ペレットストーブの導入、普及とペレット製造開始。

平成8年4月に策定した第4次飯田市基本構想・基本計画を基に、めざす都市像として「環境文化都市」を掲げ循環型まちづくりに取り組む。市内のきのこ栽培農家から発生する廃床を適正に処理するため、平成15年9月にきのこ廃床活用施設が「JA」により建設され、利活用を実施している。家庭生ゴミ、家畜排泄物、きのこ廃培地を原料にしたリサイクル堆肥の生産施設である飯田市堆肥センターを平成16年に建設し、域内循環型農業を推進している。

市内の家庭生ゴミ(131t/年)、家畜排泄物(4,042t/年)、きのこ廃床(656t/年)から堆肥を製造(813t/年)し、農協を通じて地域内の農家に販売している。

家庭用生ゴミの回収にあたっては、各家庭で水切り用の二重バケツを使用し、水切り後に集積所に持ち寄るシステムを構築し、意欲的な取り組みを実施している。また、平成13年～14年度に市内の小中学校、公立保育園には生ゴミ処理機を導入し、給食の食品残渣の堆肥化を推進している。

平成16年度に小中学校を始めとした公共施設にペレットストーブ(41台)、ペレットボイラー(1台)を導入し、木質バイオマスの利活用を実施している。

飯田市堆肥センター



水切り二重バケツ



朝、生ゴミを持ち寄る



公共施設に設置したペレットストーブ



ストーブで使用するペレット



製造した堆肥

